受託業者を特定するための評価基準

評価項目						評価基準	配点	小計	合計	評価のウェート
配置予定技術者（企業）の経験及び能力※5	資格・実績等	資格要件	技術者資格	技術者資格	管理技術者	・技術士（総合技術監理部門－都市及び地方計画） ・技術士（建設部門－都市及び地方計画）	2	5	23	14%
						・RCCM（都市計画及び地方計画又は造園部門）	1			
						・上記以外	0			
					担当技術者（※4）	・技術士（総合技術監理部門－都市及び地方計画） ・技術士（建設部門－都市及び地方計画）	2			
						・RCCM（都市計画及び地方計画又は造園部門）	1			
						・上記以外	0			
					照査技術者	・技術士（総合技術監理部門－都市及び地方計画）	1			
						・技術士（建設部門－都市及び地方計画）	0.5			
						・上記以外	0			
		専門技術力	業務執行技術力①	平成25年4月1日以降、本業務の公告日までに完了した同種業務又は類似業務（同種業務とは、「花修景に関する業務」、類似業務とは「都市公園等におけるボランティア活動を支援する業務」とする）の実績（照査技術者としての実績は評価しない）（※1）	管理技術者	・同種業務の実績が2件以上ある	3	5		
						・同種業務の実績が1件ある	2			
						・類似業務の実績がある	1			
						・上記以外	0			
					担当技術者（※4）	・同種業務の実績が2件以上ある	2			
						・同種業務の実績が1件ある	1			
						・類似業務の実績がある	0.5			
						・上記以外	0			
		情報収集力	地域精通度	平成25年4月1日以降、本業務の公告日までに完了した奈良県県土マネジメント部（土木事務所を含む）が発注した、馬見丘陵公園における造園関係建設コンサルタント業務の実績（照査技術者としての実績は評価しない）	管理技術者	・馬見丘陵公園における業務実績が2件以上ある	2	4		
						・馬見丘陵公園における業務実績が1件ある	1			
						・上記以外	0			
					担当技術者（※4）	・馬見丘陵公園における業務実績が2件以上ある	2			
						・馬見丘陵公園における業務実績が1件ある	1			
						・上記以外	0			
	成績・表彰	専門技術力	企業の業務執行技術力	平成29年4月1日以降、令和3年3月31日までに完了した、奈良県県土マネジメント部（土木事務所を含む）発注の造園関係建設コンサルタント業務（予定価格が100万円（税込み）以上の業務）の委託業務等成績評定点（※2）（※3）		・65点以上(業務成績評定点-65)×0.2	Max7	7		9%
						・60点以上65点未満(業務成績評定点-65)×0.4				
						・60点未満：-3				
		専門技術力	業務執行技術力②	国土交通省近畿地方整備局発注の平成29年4月1日以降、令和3年3月31日までに完了した業務のうち、本業務の公告日までに表彰された、優秀建設技術者表彰又は優良工事等施工者（建設コンサルタント等）表彰の経験（照査技術者としての実績は評価しない）	管理技術者	・局長表彰の実績がある	1	2		
						・部長表彰、事務所長表彰の実績がある	0.5			
						・上記以外	0			
					担当技術者（※4）	・局長表彰の実績がある	1			
						・部長表彰、事務所長表彰の実績がある	0.5			
						・上記以外	0			
手持ち業務量※5			専任制	公告日時点における手持ち業務量（1件あたり契約額500万円以上（税込み）の業務。特定後未契約のものを含む。照査技術者としての業務は含まない）	管理技術者	・手持ち業務の契約金額1億円未満かつ手持ち業務の件数が5件未満	3	5	5	5%
						・上記以外	0			
					担当技術者（※4）	・手持ち業務の契約金額1億円未満かつ手持ち業務の件数が5件未満	2			
						・上記以外	0			
実施方針		実施方針・実施フロー・工程表・その他			業務理解度	業務の目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する	4	14		14%
					業務実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する	2			
						業務量の把握状況を示す行程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する	2			
					その他	「有益な代替案」、「重要事項の指摘」と「重要事項の指摘に対する対応」がある場合に優位に評価する	2			
						同種（類似）業務の経験を踏まえた、有益な内容となっている場合に優位に評価する	2			
						地域の実情を把握したうえで、業務の円滑な実施に関する有益な提案があった場合に優位に評価する	2			
評価テーマに関する提案		制作する花壇のテーマやデザインについて、花サポーターがより深く理解して取り組むために有効なワークショップの考え方			的確性	現状の課題や留意点が的確に抽出されている場合、また地域性等が的確に捉えられている場合に優位に評価する	15	58		58%
					実現性	業績、事例研究等に基づいた技術的な裏付けのある内容がある場合に優位に評価する	8			
					独創性	検討内容に創意工夫が見られる場合に優位に評価する	6			
		花壇植栽植物（コキア等）を利用した体験講習開催スキル習得について、花サポーターが関心を持て、一般来園者がより楽しめる体験講習テーマの考え方			的確性	現状の課題や留意点が的確に抽出されている場合、また地域性等が的確に捉えられている場合に優位に評価する	15			
					実現性	業績、事例研究等に基づいた技術的な裏付けのある内容がある場合に優位に評価する	8			
					独創性	検討内容に創意工夫が見られる場合に優位に評価する	6			
参考見積					業務コストの妥当性	業務量の目安と大きくかけ離れているか、または提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない	－	－	－	－
評価点合計									100	100

※1　国又は地方公共団体等が発注した業務に限る。

※2　予定価格が100万円（税込み）以上の奈良県県土マネジメント部（土木事務所を含む）が発注した業務の実績がない場合は、造園関係建設コンサルタント業務65点とし、評価は0点とする。

※3　評価対象とする造園関係建設コンサルタント業務とは、［基本構想］・［基本計画］・［基本設計・実施設計］とする。［工事監理業務］・［積算技術業務］・［測量、地質調査、単純調査等の業務］を除く。

※4　担当技術者を複数もうける場合の評価値は、それぞれの担当技術者の平均値により算出する。

※5　「配置予定技術者（企業）の経験及び能力」、「手持ち業務量」の状況等を明確に判断できる資料が添付されていない場合は、加点しない。